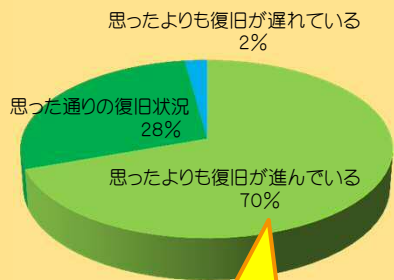


体験・視察セミナー開催

平成23年10月25日(火)に仙台国際貿易港体験・視察セミナーを実施しました。御参加いただいた企業の皆様には、ガントリークレーンによるコンテナ荷役の様子や高砂2号岸壁の工事の様子を視察していただきました。実際に御参加いただいた皆様のお声を届けたいと思います。

アンケート結果



70%のお客様が復旧が進んでいると回答



10月25日 ガントリークレーンによる荷役作業を視察

【参加者の声】(アンケートより抜粋)

- 震災直後のCYの様子を写真で見っていたので、被災したコンテナの処理が現状ほど進んでいるとは思わなかった。(製造業A社)
- 被災したにも関わらず、コンテナの数がすごかった。(製造業M社)
- コンテナが流出するような被害だったのに、7か月でここまで復旧したことに驚いた。(製造業H社)
- 北米航路再開の見通しが立った。(製造業A社)
- 実際に視察して、聞いていた情報では分からなかった部分が明らかになった。(製造業A社)

セミナーの詳細な内容については宮城県土木部港湾課HPまで↓
<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/kousin/sinkou/Q4seminar/H23/shisatu.html>

<この記事に関するお問い合わせ>

宮城県土木部港湾課振興班 仙台市青葉区本町3-8-1
 Tel: 022 (211) 3221 メール:kousin@pref.miyagi.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/>



仙台塩釜港高砂コンテナターミナル

仙台CYニュース

— 復興に向かって Hop Step Jump — vol.2

平成23年11月 宮城県土木部港湾課



仙台CYニュースvol.1をお手にとりいただいた皆様ありがとうございました。vol.2では復旧スケジュールやセミナー開催結果についてご案内させていただきます。

リーファー電源・照明灯復旧

リーファー電源が平成23年11月1日(火)より稼働を開始しました。これまではターミナルオペレーターに用意していただいた仮設電源のみで対応していましたが、今後は本施設での受け入れが可能となります。また、平成23年10月28日(金)に照明灯2基が復旧しました。船舶運航の定時性の維持など、サービス向上につながります。

- リーファー電源23個が復旧！ますます便利に！
(※不足分は仮設電源で対応します)
- 照明灯2基が復旧！効率的な夜間荷役が可能に！



11月8日 早速利用されるリーファー電源



11月9日 夜間照明点灯中

高砂2号ふ頭工事進行中

高砂2号ふ頭の復旧工事が着実に進行しています。

11月末にはエプロン270m部分および背後のヤード部分(270m×60m)について工事が完了し、一部供用再開を予定しております。

このことにより、被災前に就航していた北米航路の大型船舶も受け入れが可能となります。



11月8日 高砂2号ふ頭の工事の様子

高砂コンテナヤード復旧計画（平成23年11月1日現在）



ガントリークレーン①号機
12月上旬稼働（予定）

ガントリークレーン②号機
9月5日～稼働済

ガントリークレーン④号機
11月下旬稼働（予定）

ガントリークレーン③号機
3月末稼働（予定）

1号ふ頭 270m 6月供用開始

2号ふ頭 330m 24年度末完全復旧

11月末 エプロン270m使用可（予定）
ガントリークレーン②④2基による荷役可（予定）
エプロン背後L270×W60m使用可（予定）

照明灯TL-1・TL-5
10月28日～2基稼働済

照明灯TL-2～3
12月下旬 2基稼働（予定）
照明灯TL-4・TL-6～8
3月下旬 4基稼働（予定）

仮設照明灯（投光機）
9月下旬 4基配備

リーファー電源
11月1日～23個稼働済
12月上旬 46個稼働（予定）

仮設リーファー電源
24個分配備済（三陸運輸株）
46個分配備済（塩竈港運送株）

※稼働予定時期は目標であり、工事の進捗状況によっては遅れる場合があります。

※平成22年10月19日撮影